

縄南中通信



平成29年 4月10日 発行
2017年度 第1号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による二十歳の成人式に

当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

「縄手南」の誇りを持って日本一を！ 2017「縄南道」始動

日本一をみざす2017年度(平成29年度)がスタートしました。縄手南は平成31年度より、小学校と中学校が一つの組織となった義務教育学校になります。中学校に今年度入学した中学1年生は、平成31年4月には義務教育学校の9年生になりますので、今年度から中学生1・2・3年生をそれぞれ7・8・9年生と小中学校では呼ぶこととします。また、今年度から東大阪市初の公立認定こども園である縄手南こども園が開園し、来年度は縄手南公民分館を単位とした協働まちづくりに関する組織がスタートします。平成31年度の義務教育学校開校とあわせて、縄手南校区の学校園・保護者・地域の繋がりをさらに強固にし、みんなで「日本一の縄手南」をつくりあげましょう。縄手南では、「縄南道」と呼ぶ「人格形成」を柱とした教育活動を実践し、「二十歳の成人式に当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成」を理念としながら、「日本一」の学校をみざしています。よく「どうなれば日本一ですか?」と問われることがありますが、本校区のすべての児童・生徒に「自分の持てる力を常に全力で出し切っているか?」と問い返せば、その答えが見えてきます。「自分はまだまだやれる。」「自分の力はこんなものではない。」と自らが思っているようでは、少なくともまだまだ「日本一」ではありません。「縄南道」では、勝つときには必ず「勝因」があり、負けるときには必ず「敗因」があると伝えています。そして「勝因」とは、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、 「敗因」とは「いい加減」「適当」「だいたい」であると伝えています。何事もそうですが、ある一定の時間をかけ、ある一定のがんばりをすれば、それなりの結果を出すことはできます。しかしながら、それ以上の勝負では、ぐっと歯をくいしばり、苦しい状況を踏ん張り、試練や劣勢の時でもていねいに、ひたむきにプレーしなければならない場面が必ずあります。そのような時に、いい加減になってしまったり、雑になってしまったりすると、それまでの努力が一気に水の泡となってしまうことが多々あります。つまりそれは「人格」がプレーをするということです。「縄南道」ではこの「人格」に重きをおき、日頃の多くの場面での鍛錬を通して「人格」を磨こうとしています。二十歳の成人式には、きちんと人の話を聞き、会議や打ち合わせを重ねて準備をしていただいている方々への感謝の気持ちも大切にし、二十歳にもなればそうした方々に対して「ありがとうございました。」の一言をせめて言えるようになって欲しいと願っています。それは当たり前のことです。「縄南道」ではこうした「心」の在り方を大切にするとも伝えていきます。また、「勝因」である「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」は継続してこそ身につくものです。「敗因」の要素である「いい加減」「適当」「だいたい」は、継続して積み上げた努力を一瞬にして奪ってしまうこともあります。「継続」は容易ではありませんが、手を抜くことは容易です。

また、本校区のモットーである「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は、今すぐ誰にでもできる「勝因」です。しかしながら、今すぐ誰にでもできるはずのことであっても、そうそう簡単にできることではありません。どんな時にでも、自分が試練や劣勢にたたされている時であっても、言い訳をせず、自分自身と勝負して、ぐっと歯をくいしばり、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を実行できるか否かは「人格」に起因します。「縄南道」では「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を実行し「日本一」を目指します。

本校の特徴であるアドバイザーシステム

本校の教育活動ではアドバイザーシステムというシステムを活用しています。元プロや専門職におられた方々、また現役のプロの方々に定期的、また不定期に学校にスタッフとして来ていただき、生徒への直接指導、間接的な指導に携わっていただいています。専門的スキルをお持ちの方々ですので、生徒諸君はぜひ専門性に触れる機会を積極的に持って下さい。

平成29年度アドバイザースタッフ

澤井幸男氏（元大阪府警）、乾龍介氏（元朝日放送アナウンサー）、
竹中淳子氏（フリーアナウンサー）、旭堂南青氏（上方講師）、
岸本恵一氏（大阪産業大学アスレチックトレーナー）、神代千穂氏（元OSK所属）
吉田誠氏（奈良教育大学教職大学院教授）、早見直美氏（大阪市立大学大学院助教）
水野治久氏（大阪教育大学教授）、
赤峰フミコ（元東大阪市立中学校教諭、元大阪桐蔭高校陸上部コーチ）

また、主に米島さん（学校校務員）とともに、学校営繕・学校美化にご協力をいただいているボランティアスタッフの方々もおられます。

平成29年度ボランティアスタッフ

生野実さん（平成8年度PTA会長）、根布秀樹さん（平成8・9年度PTA運営委員）、

本校より異動された先生

三好徹司教頭先生（教頭）縄手南小教頭、阿世知みゆき先生（社会科）盾津中へ、
石橋健史先生（英語科）縄手中へ、山下千佳先生（国語科）福井県へ、
三室有里絵先生（美術科）若江中へ、石田直樹先生（社会科）、
朝田忠幸先生（社会科）新喜多中へ、高橋清美先生（スクールヘルパー）新喜多中へ、
ホセ・アギラ先生（ALT）、

本校に来られた先生

山野仁嗣先生（保健体育科）花園中より、世古祐太先生（英語科）英田中より
寺垣知彦先生（社会科）英田中より、石原大地先生（英語科）大東市立深野中より、
倉田ひかり先生（養護教諭）、阪井佑至先生（社会科）、
角本陽子先生（スクールヘルパー）、

クラブ等の主な記録

漢字能力検定 平成28年度漢字能力検定 特別賞 東大阪市立縄手南中学校

英語検定 平成28年度実用英語技能検定 奨励賞 東大阪市立縄手南中学校

陸上部 第50回東大阪市中学校総合体育大会

男子中学1・2年 800m 3位 喜代田悠輝(9年)2'16"18

バドミントン部 第25回東大阪市中学校総合体育大会

男子ダブルス 3位 山川大翔・中野和菜ペア(9年)

女子テニス部 第10回樟蔭杯 5位 川西美空・上野山陽香ペア(9年)

※平成31年度義務教育学校開校に向け中学1年・2年・3年を7年・8年・9年と表記しています。